

2050年滋賀県

以前の2030に50%減が、県民に共有化されていなかった。社会システムの変革必要 → 禁煙のように

会

- 技術革新の具体的なイメージを示さないと革新がおきない
- より大きなイメージ図を

本気やる気その気

像としては良いがそこに至る道筋が問題

2050年のゴールに向けてどうすすめていくか、まだまだイメージがわかない

今まで頑張ってきたがぜんぜんCO2減ってない。このままでは到達できない国県市のお金のバックアップのシステム要

B→BのみならずB→Cも重要特に10-20代の世代へのアピール

ぜったいやらないといけなさと認識する社会システムづくりが必要

【シナリオ作成の流れ】

【ネットゼロはどれくらい削減しなければ?】

【人口の将来予測(約13万人減)】

【経済成長(生産額年0.6%成長)】

【労働力・就業率の将来】

前提
・どのエネを確保する?
・どのように確保する?
が一番大事

10年後まで、20年後までなどマイルストーンとなる目標を出してもらった方がよい。途中の姿もほしい

望むのではなく、せざるを得なくなるように制度を(or選択メニューを)変える

暮らし方

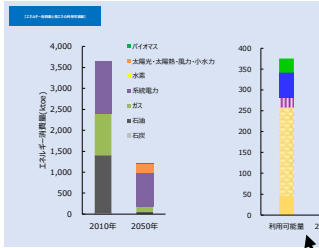
- いいものを長く使う
- 農林水産物は地産地消
- ボランティア、社会参加時間の増加
- 都市構造の改変、情報化による移動の抑制

働き方

- 女性と高齢者が活躍
- 県内に住みながら、県内で働く(地場産業を作る)
- ワークライフバランス
- 多様な働き方をする(6次産業、コミュニティの内部での助け合いによる仕事(教育、福祉、子育てなど))
- 地域のために働く
- 地域の自然資源を活かして働く(再工業、エコツアーなど)

主力産

- いくらの投資がかかるのか? 絵に書いた餅になってしまう。「支援レベル」ではない
- エネルギー
- 高付加価値
- 地場産業の育成



バイオマスボイラーがあるが、本当に使えるか5%も入れられるほど実用になるのか?

滋賀県らしさはナイ! 今のところ... 後々・木の家??

- 先端techでネット0にかたよった像に見える
- 国の施策の地方版に見える 独自が見えない

市町との協力も必要

論争になりそうな点として挙げていることは少なすぎる。こんなものではムリ!

2050年までにどれだけの家が建て代わるのか? 既設の家は何が出来るのか?

各市町との「連携」ではなく一体!

CO2フリーの電気が供給されていることが前提になっている → これが崩れるとネット0は不可能

PV 48→8円 デマンドレスポンスの意識が見える化ですむ

政策的誘導も必要ではないか、(CO2フリー電力の購入)

公共投資が必要! 特に水害対策

滋賀県全体としての「像」としてはいいか? SDGsや目指す姿などと齟齬(そご)があるのでは? 安易なtechのみ対応に見える

地産地消と言うが、県民はそもそも滋賀県で何が作られているか知らない 流通しないので探せない

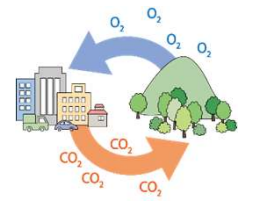
ファイバーで光を各部屋に届けることが出来るとよい → 2050にはTechあるかも

個人の住宅は特にネット0の新築にするメリットなし

食CO2では近江牛exportと自給自足は矛盾では?

危機感を共有できない → ビワコの魚食べていない人にとっては全層循環起きなくて魚死んでも痛くもかゆくもない

購入する電力はすべて「ゼロカーボン」



産業部門では重油→天然ガスなどよほどの設備投資必要になる それでもせいぜい10%かも

蓄電池への補助(購入電力を減らす)

中小企業の支援は必須 大企業でもNEDOなどお金のサポート要

補助金だけでなく 企業主らの取組を

コミュニティバスなど 移動への支援



乗用車: 電気99%
乗用車: 水素1% (約7,000台)
バス: 電気100%

流通に対するしくみづくり (地産地消をしようにもスーパーに並んでない) 探さないといけない



CO2が多いのは車、暖房車 → 偶奇数で分けて走らせる → コミュニティバス → 自転車

- 普通貨物車: 電気80%, 水素5%, 天然ガス15%
- 小型貨物車: 電気100%

- ほぼオール電化
- 太陽光発電: 33万kW
- バイオマスボイラ: 5%
- 太陽熱: 5%